

平成 22 年度 熊本高専科学技術教育支援講演会開催案内

科学技術教育支援と高専教育

日本の将来を担うべき小・中学生で理科離れが指摘され、技術立国日本の将来が危惧されています。これは、子供たちの実体験の機会の減少とも関係があると思われます。また、小中学校での教育課程の問題点も指摘されています。このような状況に対する打開策として、科学・技術の面白さを子供たちに知ってもらおうという試みとして企業や大学・高専等による実験を主体とする出前授業や公開講座などが実施されています。九州沖縄地区では、9高専がネットワークを作り科学技術教育支援WGとして活動を続けています。小中学校の教育支援活動などに高専学生を積極的に参加させることにより高専教育にも活かそうという試みもなされています。本講演会では、企業と大学で科学技術教育支援活動に携わる先生方2人の講演を計画しています。本講演会では、地域教育機関との連携を通して科学技術教育支援の可能性と今後の工学教育の在り方を考えていきます。高専教育関係者の多数の参加をお願いします。

日 時：平成 22 年 12 月 24 日（金）13：00～16：40（受付開始：12：30）

会 場：熊本高専八代キャンパス，管理棟大会議室

会場地図 http://www.kumamoto-nct.ac.jp/general/access/access_y.html

主 催：熊本高等専門学校 PBL・総合教育センター

協 力：九州・沖縄地区高専科学技術教育支援 WG

参加予定数：40 名程度

申込方法：下記のメールに申し込みください。

（九州沖縄地区高専の科学技術教育支援担当 1 名には旅費の支給が可能です）

平成 22 年度 科学技術教育支援講演会プログラム

開会挨拶（13:00～13:20）

宮川 英明（熊本高専校長）

○講演

司会：内山 義博（熊本高専 PBL・総合教育センター）

講演Ⅰ（13：20～14：00）

「企業における理科教育支援事例紹介」

坂井英明（三菱電機㈱人材開発センター）

講演Ⅱ（14：00～14：40）

「小中学生対象理科教室の展開」

崎山智司（山口大学大学院理工学研究科）

— 休憩（14:40～15:00）

○科学技術教育支援と高専教育（15：00～16：40）

司会：大河内 康正（熊本高専 PBL・総合教育センター）

実施報告および討議：九州・沖縄地区科学技術教育支援 WG 各高専の取り組み

科学技術教育支援は何を目指すのか。

科学技術教育の高専教育に果たす役割と可能性

閉会挨拶

山崎 充裕（熊本高専 PBL・総合教育センター）

連絡：okochi@kumamoto-nct.ac.jp 大河内康正（建築社会デザイン工学科，PBL 総合教育センター）